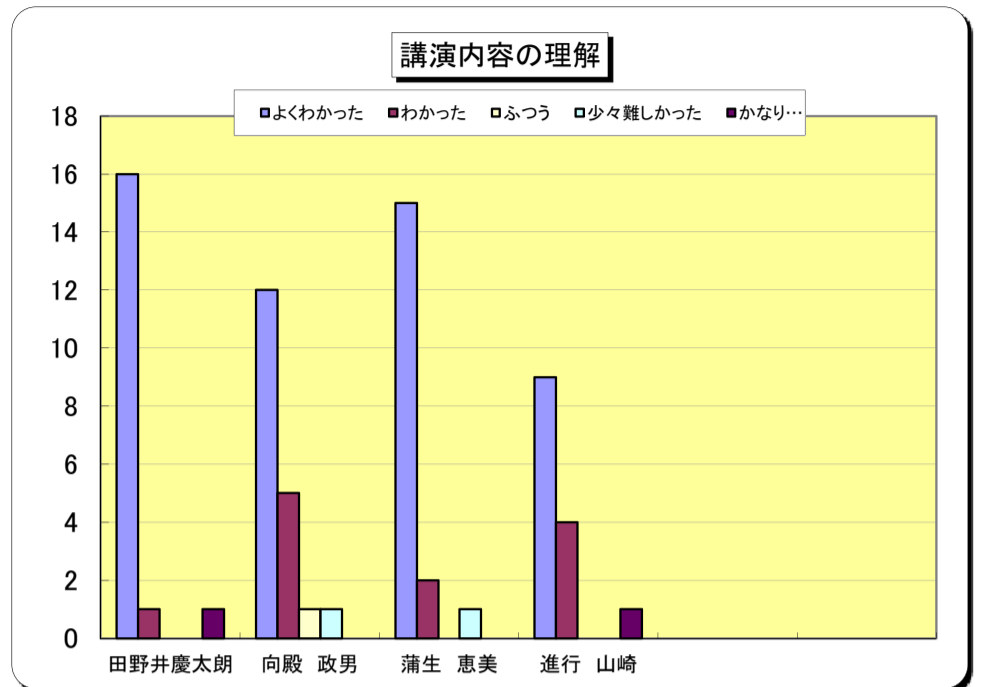


食のリスクコミュニケーション・フォーラム 4回シリーズ
 テーマ:「食の安心につながるリスコミを議論する」第4回
 2014年10月26日(日)13:00~17:40
 於 東京大学農学部フードサイエンス棟内 中島董一郎記念ホール

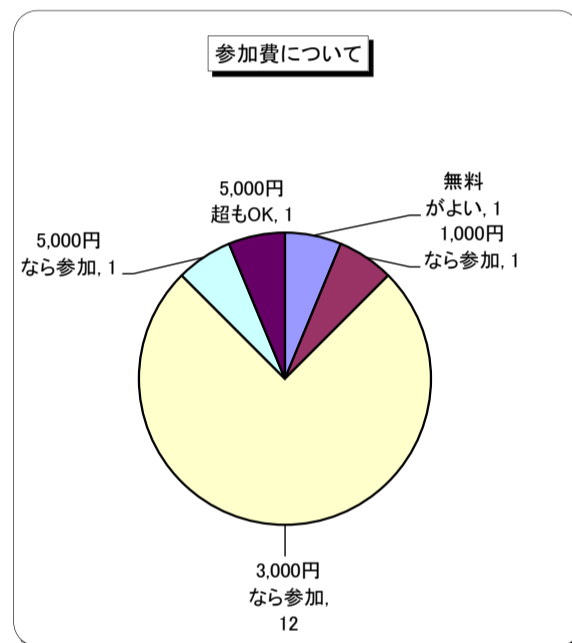


アンケート回収数19枚(参加者:37名、演者・関係者10名を除いた回収率:70%)

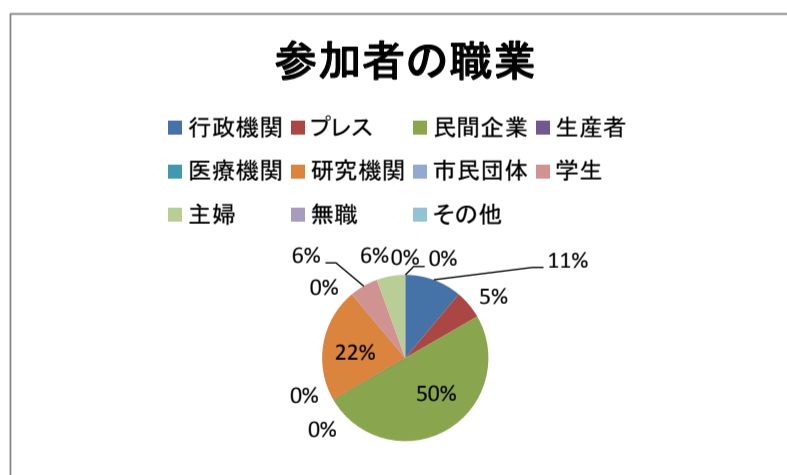
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食・農業環境の放射能汚染	田野井慶太郎	16	1	0	0	1
2	安全学における安心の位置づけ	向殿 政男	12	5	1	1	0
3	食品安全情報の消費者教育	蒲生 恵美	15	2	0	1	0
4	パネル・ディスカッション: 『食の安心につながるリスコミを議論する』	進行 山崎	9	4	0	0	1
5			0	0	0	0	0
6			0	0	0	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムについて参加費(NPOへの賛助)がいくらまでなら参加されますか?	1	1	12	1	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	
行政機関	2
プレス	1
民間企業	9
生産者	0
医療機関	0
研究機関	4
市民団体	0
学生	1
主婦	1
無職	0
その他	0



1	食・農業環境の放射能汚染	田野井慶太郎
---	--------------	--------

1	いつもながら大変分かり易いご講演で勉強になりました。
2	モモや梅の実に放射性CSが移行するメカニズムは初めて知りました(樹皮から)。放射能の検査をいつ終息させていくか生産側には頭の痛い課題だと思います。
3	具体的データを示していただいてわかりやすかったです。
4	0
5	0
6	カリウムの効果として吸収抑制に加えて転流抑制もあるのは初めて聞きました。
7	0
8	シーベルトのお話が非常にわかりやすかったです。
9	0
10	調査結果に触れ、このようなことをどれだけの人達が知っており、農産物の購入をしているのだろうかと思いました。一次情報に触れることの重要性和共に情報提示の仕方により操作される部分もあるということ意識していきたいと思います。
11	福島の問題は東京電力や政府の福島第一原発
12	0
13	0
14	わかりやすく良かった。
15	0
16	0
17	具体的で大変わかりやすかったです。テストと講義がすばらしかったです。
18	0
19	東大大学院の皆様がずっと取組んでこられた調査・研究の現状を知りたくて参加しました。3年半時点での現状が良くわかりました。福島県内も含めて多くの方々に知っていただく機会が必要だと感じ、私共も何が出来るか考えていきたいと思います。

2	安全学における安心の位置づけ	向殿 政男
---	----------------	-------

1	品格、ブランド力について考えるというお話は大変参考になりました。
2	安心＝企業の品格というお話「なるほど」と思いました。
3	安心を得るには、いろいろなプロセスがあるんだなと思いました。
4	安全、安心の差について従来の考えを見直すきっかけになりましたが、かえって混乱したのも正直な感想です。
5	0
6	安全・信頼・安心の関連は、この方程式が妥当かどうか、いつも悩みます。
7	0
8	安全、安心について楽しく学べました。顧客が安心を求めるのはわかりますが、ゼロリスクはないということをもっと知ってもらえないものかと考えさせられました。
9	0
10	安全に対する考え方、価値観をどこにおくかによって捉え方が変わるのだと思いました。作る側、使う側、管理する側の視点をもった上で製品の安全を考えなければいけないと思います。
11	信頼を定量化することは難しいと感じています。
12	0
13	0
14	難しい話をわかりやすく解説していただいて良かった。
15	0
16	0
17	こんにやくゼリーは製品安全問題というお話は目からウロコでした。
18	0
19	安全と安心の考え方、信頼が大事ということを改めて納得させられた。またリスクの存在を受けとめる、知らせる大事な様々なことに通じること。田野井先生とも通じるものがあった。

3	食品安全情報の消費者教育	蒲生 恵 美
---	--------------	-----------

1	大変分かり易く整理されたご講演で、リスコミにおける重要ポイントが良く分かりました。再度他の事例を含めて詳しくお話を伺いたいです。
2	消費者教育という視点で4つのポイントをお話いただきましたが、4つのポイントは広く社員教育などにも適用できるのではと思いました。
3	自分の価値観、感情にとらわれてはいけないなと思いました。わかったつもりも危ないと思いました。
4	リスコミの目標、手法etcについて、マクロ・ミクロのポイントが良くまとまり理解が進みました。
5	0
6	判断の3つのポイントの説明がわかりやすく、他人に説明するのもやりやすいと思いました。
7	自立した消費者をどう育成するのが特に大きな課題だと思います。
8	専門家と市民の意識の実態のズレ、消費者教育にあたり重要な点と思います。
9	0
10	どのような視点をもって技術を捉えるかによって何を受入れて何を受入れないかというものが変わってくると感じました。社会的な背景に対する認識を深めることを心がけていきたいと思います。
11	消費者コミュニケーションの切り口がよく理解できました。
12	大変わかりやすい講義でした。
13	とてもわかりやすく効果的なプレゼンテーションの例として参考にさせていただきたいと感じました。
14	0
15	0
16	0
17	消費者教育推進法のことを不勉強で存じなかったので大変勉強になりました。
18	0
19	0

4	パネル・ディスカッション: 『食の安心につながるリスコミを議論する』	進行 山崎
---	---------------------------------------	-------

1	いつもながら講師の先生方から貴重なお話を伺えるような良い進行だったと思います。
2	0
3	質疑応答が活発に行われていて良かったです。
4	いつも通り良いモデレーションだったと思います。
5	0
6	前回と違って今回はディスカッションになっていると感じた。
7	0
8	興味深い質問をスピーカーにふって、まとめて頂き、聞きやすかったです。
9	0
10	0
11	大変勉強になりました。
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	山崎先生の視点から質問進行して下さい、とても良かったです。
18	0
19	0

7	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
1	テーマとしては重要でタイムリーと思うが適任と思われる講師が少ない。
2	大変興味深く聞かせていただきました。勉強になりました。ありがとうございます。
3	どの講師のかたのお話もわかりやすく良かったです。
4	参加者、パネラー、モデレーター間で率直で真剣なコミュニケーションが培われていると感じました。
5	0
6	演題3つの内容も高くディスカッションも丁寧にやられていたのでよかったですと思います。
7	0
8	大変興味深く参加しておりました。
9	GMOはききたいテーマだったのでよかった。
10	先入観を持たず真実を知ろうとしていきたいと思います。
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	とても重要な話が多く、是非このようなフォーラムを広げてほしいと思います。
17	大変勉強になり有難うございました。
18	今まで持っていなかった視点をいくつかもらえたので勉強になった。
19	0

8	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
---	---

1	輸入食品のリスクについて中国製は本当はどうか。他に日本と比べてリスクの高い国はあるのか。
2	0
3	食のリスクには、どのようなものがあるのか、比較とトレードオフ
4	食糧安全保障、人口が増えてゆく中、日本を冷静に見るための食料の安定供給(国内、国外)
5	0
6	食品の表示についてやってもらいたい。(安全というよりは安心の話だと思いますが)
7	表示と安全、消費者の自立
8	原料原産地表示
9	海外のspeakerも是非
10	食品の安全を管理する仕組みについて(ISO・HACCP関連)
11	0
12	0
13	消費者とのリスクコミュニケーションの事例の紹介
14	0
15	0
16	リスコミは大切だと思います。
17	0
18	0
19	0

9	当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか？
---	------------------------------------

1	マスコミへの情報提供
2	0
3	中立的な立場での情報発信
4	アドボカシー、政策提言、意見表明(意見書のようなものでしょうか)
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	体験型(食品の製造現場、生産現場の視察や話を聞く機会の設定など)のセミナー開催
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	是非、事実とちがうことの指摘など重要な活動だと思います。
17	0
18	0
19	0